

1. 構造名：
換気金物・化粧スラグせっこう板張／木製下地軒裏

2. 申請仕様の寸法：
申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項 目	申 請 仕 様
軒の出	121～600mm
軒の幅	構造計算等によって構造安全性が確かめられた寸法
軒の形状	勾配又は水平
換気金物位置	軒元、軒先、中央部

3. 申請仕様の主構成材料：
申請仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 申請仕様の主構成材料

項 目	申 請 仕 様
軒天材	<p>材料：①又は② ①化粧スラグせっこう板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8315) ②スラグせっこう板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8314) 厚さ：12(-0.5)mm以上 密度：0.9g/cm³以上 表面形状：1)～4)の一 1) 平滑 2) エンボス 3) 平滑・溝加工 4) エンボス・溝加工 ※但し、2)～4)については最小厚さ12(-0.5)mmを確保</p> <p>表面塗装 種類：1)～8)の一 1) アクリルウレタン樹脂系塗料 2) アクリル樹脂系塗料 3) ウレタン樹脂系塗料 4) エポキシ樹脂系塗料 5) アクリルシリコン樹脂系塗料 6) フッ素樹脂系塗料 7) 無機質系塗料 8) なし</p> <p>塗布量：200g/m²以下(有機質固形分量)</p>

つづく

つづき

換気金物	本体	<p>構成：①及び②</p> <p>①鋼板 材質：1)～9)の一</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 塗装ステンレス鋼板 (JIS G 3320) 2) 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3322) 3) 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3318) 4) 塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3312) 5) ポリ塩化ビニル被覆金属板 (JIS K 6744) 6) 冷間圧延ステンレス鋼板 (JIS G 4305) 7) 溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3321) 8) 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (JIS G 3317) 9) 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302) <p>厚さ：0.35mm以上</p> <p>②合成樹脂塗装/有機質系繊維混入セメントけい酸カルシウム板 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-2204)</p> <p>幅：28.5(±2.8)mm 高さ：19.5(±1.9)mm 長さ：1820mm以下</p> <p>幅：80(±4)mm 高さ：21.0(±2.1)mm 長さ：1820mm以下</p> <p>換気孔の大きさ(1孔あたり)：4.7(-0.1)×31(-0.1)mm以下(面積1.46cm²以下)</p> <p>換気孔間隔：8mm以上</p> <p>換気孔面積：156.90cm²/m以下</p> <p>金物切り起こし部：12箇所以下</p>						
	加熱膨張材	<p>材料：黒鉛含有エポキシシート</p> <p>組成(質量%)：</p> <table border="0"> <tr> <td>エポキシ系樹脂</td> <td>27(±2.7)</td> </tr> <tr> <td>熱膨張性黒鉛</td> <td>25(±5)</td> </tr> <tr> <td>無機充てん材</td> <td>48(±4.8)</td> </tr> </table> <p>厚さ：1.6(±0.4)mm以上</p> <p>幅：10(±1.0)mm以上</p>	エポキシ系樹脂	27(±2.7)	熱膨張性黒鉛	25(±5)	無機充てん材	48(±4.8)
エポキシ系樹脂	27(±2.7)							
熱膨張性黒鉛	25(±5)							
無機充てん材	48(±4.8)							
野縁		<p>材料：①又は②</p> <ol style="list-style-type: none"> ①日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材、構造用集成材、造作用製材又は下地用製材 ②平成12年建設省告示第1452号第六号に規定する無等級材又は第七号に規定する木材 <p>断面寸法：30×38mm以上</p> <p>密度：0.33(±0.03)g/cm³以上</p> <p>取付間隔：軒の出方向300(+30)mm以下(軒の出が300mmを超える場合)</p>						

つづく

つづき

縦野縁	材料：①又は② ①日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材、構造用集成材、造作用製材又は下地用製材 ②平成12年建設省告示第1452号第六号に規定する無等級材又は第七号に規定する木材 断面寸法：30×38mm以上 密度：0.33(±0.03)g/cm ³ 以上 取付間隔：軒の幅方向455mm以下
吊り木	仕様：(1)又は(2) (1)なし (2)あり(軒の出が300mmを超える場合) 材料：①又は② ①日本農林規格に適合する針葉樹の構造用製材、構造用集成材、造作用製材又は下地用製材 ②平成12年建設省告示第1452号第六号に規定する無等級材又は第七号に規定する木材 断面寸法：30×38mm以上 取付間隔：軒の幅方向910mm以下

4. 申請仕様の副構成材料：

申請仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 申請仕様の副構成材料

項目	申請仕様
目地部材	仕様：(1)、(2)又は(3) (1) 突付け目地(面取りあり又はなし) (2) 金属ジョイナー目地 材質：1)又は2) 1) ステンレス鋼製 2) 鋼製 厚さ：0.2mm以上 形状：H形、又はT形 (3) 合じゃくり目地(面取りあり又はなし)
止水材	仕様：(1)又は(2) (1) なし (2) あり 材料：①又は② ①EPDM発泡体 寸法：3×3mm以上 ②シーリング材 材質：1)～6)の一 1) シリコーン系 2) 変成シリコーン系 3) アクリルウレタン系 4) ポリウレタン系 5) ポリサルファイド系 6) アクリル系 使用量：2g/m以上 使用箇所：軒天材と換気金物との取合い部
留付材	軒天材固定用： 材料：①、②又は③ ①スクリークぎ ②リングくぎ ①及び②の寸法：胴部径φ2.15×長さ38mm以上 ③ねじ 寸法：呼び径φ3.0×長さ25mm以上 材質：1)又は2) 1) ステンレス鋼製 2) 鋼製 留付間隔： 軒先・軒元部；軒の幅方向150mm以下 軒中間部；軒の出方向150mm以下、軒の幅方向455mm以下 野縁固定用： 材料：①～④の一 ①くぎ ②スクリークぎ ③リングくぎ ①、②及び③の寸法：胴部径φ3.05×長さ65mm以上

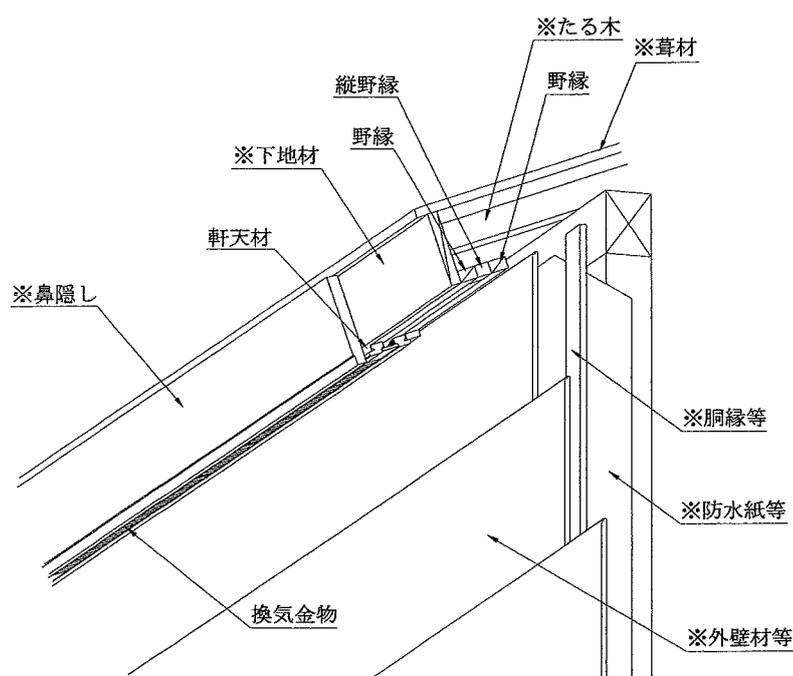
つづく

つづき

留付材	<p>④ねじ 寸法：呼び径φ3.0×長さ65mm以上 材質：1)又は2) 1) ステンレス鋼製 2) 鋼製 留付間隔：軒の幅方向455mm以下</p>
	<p>縦野縁固定用： 材料：①～④の一 ①くぎ ②スクリークぎ ③リングくぎ ①、②及び③の寸法：胴部径φ3.05×長さ65mm以上 ④ねじ 寸法：呼び径φ3.0×長さ65mm以上 材質：1)又は2) 1) ステンレス鋼製 2) 鋼製 留付間隔：軒の幅方向455mm以下</p>
	<p>吊り木固定用(吊り木を使用する場合)： 材料：①～④の一 ①くぎ ②スクリークぎ ③リングくぎ ①、②及び③の寸法：胴部径φ3.05×長さ65mm以上 ④ねじ 寸法：呼び径φ3.0×長さ65mm以上 材質：1)又は2) 1) ステンレス鋼製 2) 鋼製 留付間隔：910mm以下</p>
	<p>換気金物固定用： 材料：ねじ 材質：1)～7)の一 1) 冷間圧造用ステンレス鋼線 (JIS G 4315) 2) 軟鋼線材 (JIS G 3505) 3) 冷間圧造用炭素鋼線 (JIS G 3507-2) 4) 機械構造用炭素鋼鋼材 (JIS G 4051) 5) 軟鋼線材 (JIS G 3505) 6) ステンレス鋼線材 (JIS G 4308) 7) ステンレス鋼線 (JIS G 4309) 寸法：呼び径φ4.0×長さ50mm以上 留付間隔：445mm以下</p>

5. 申請仕様の構造説明図：
申請仕様の構造説明図を図1～図12に示す。

単位mm

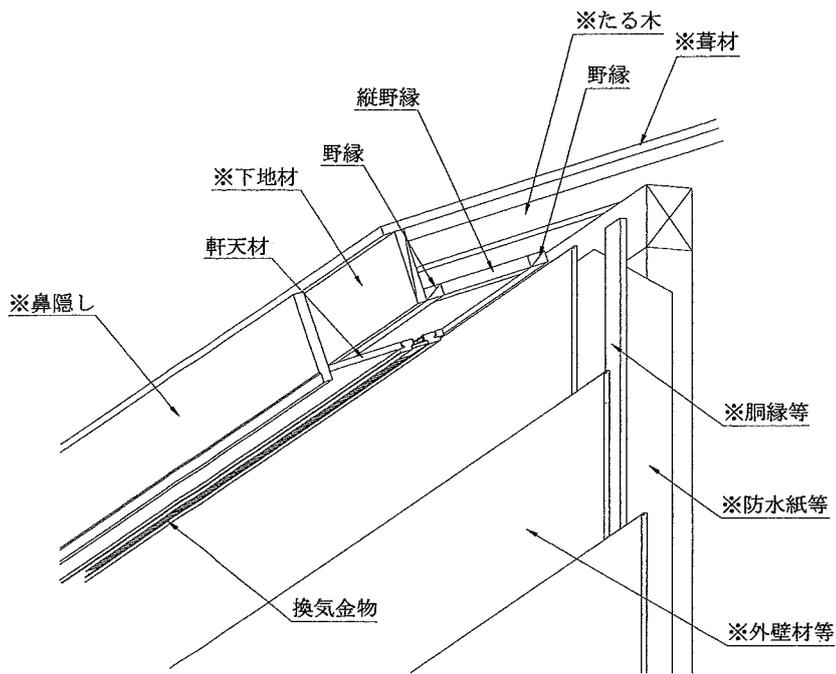


※評価対象外

透視図
(勾配仕様 軒の出121)

図1 構造説明図

単位mm

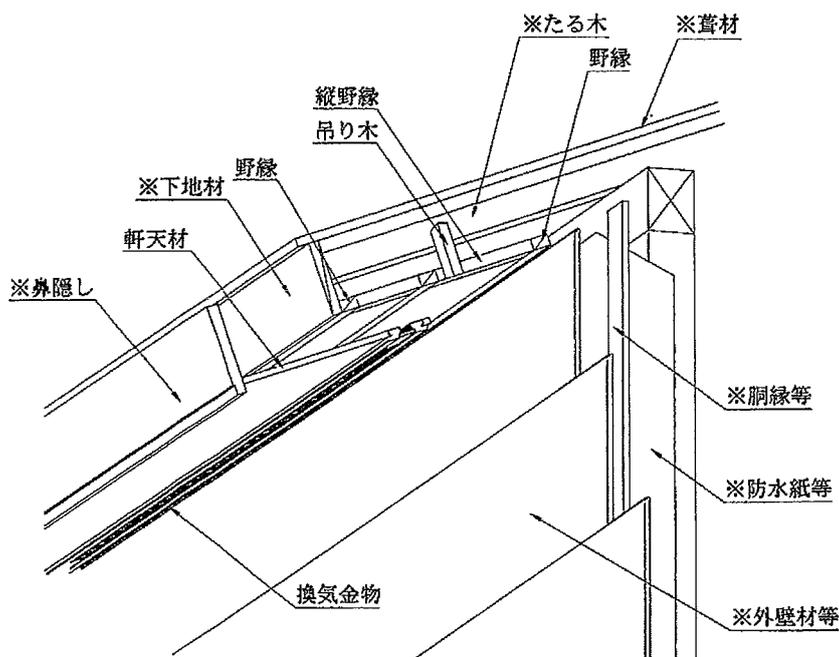


※評価対象外

透視図
(勾配仕様 軒の出300)

図2 構造説明図

単位mm

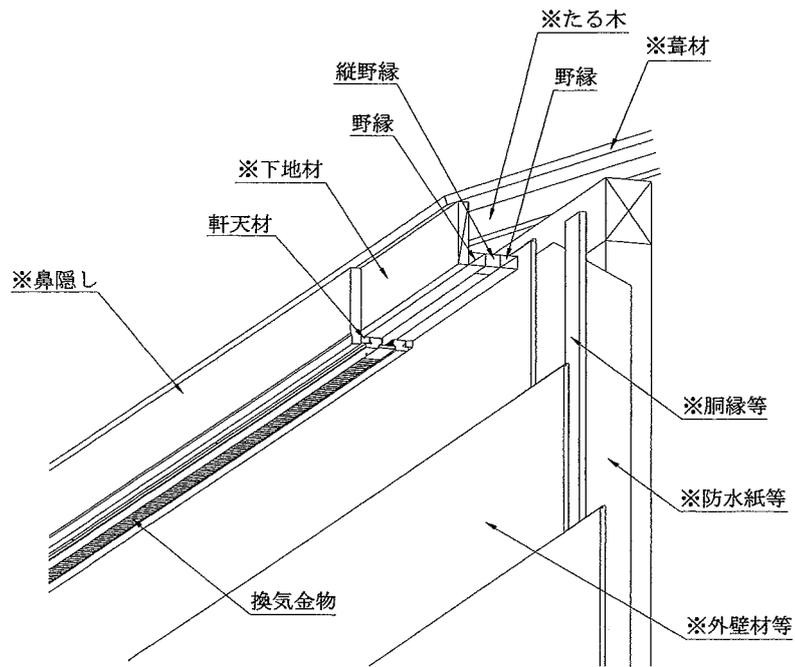


※評価対象外

透視図
(勾配仕様 軒の出300を超える場合)

図3 構造説明図

単位mm

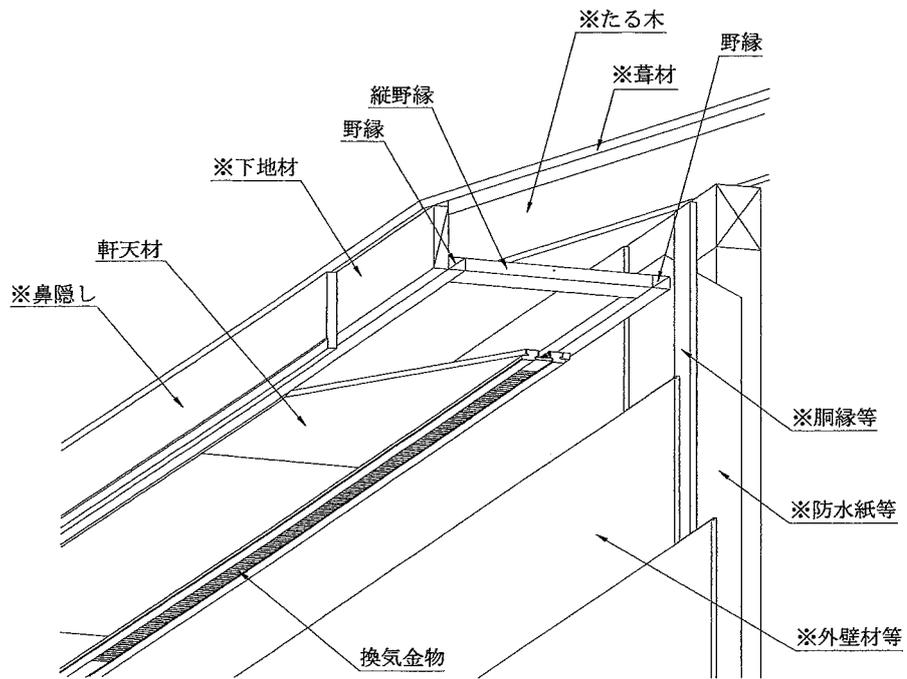


※評価対象外

透視図
(水平仕様 軒の出121)

図4 構造説明図

単位mm

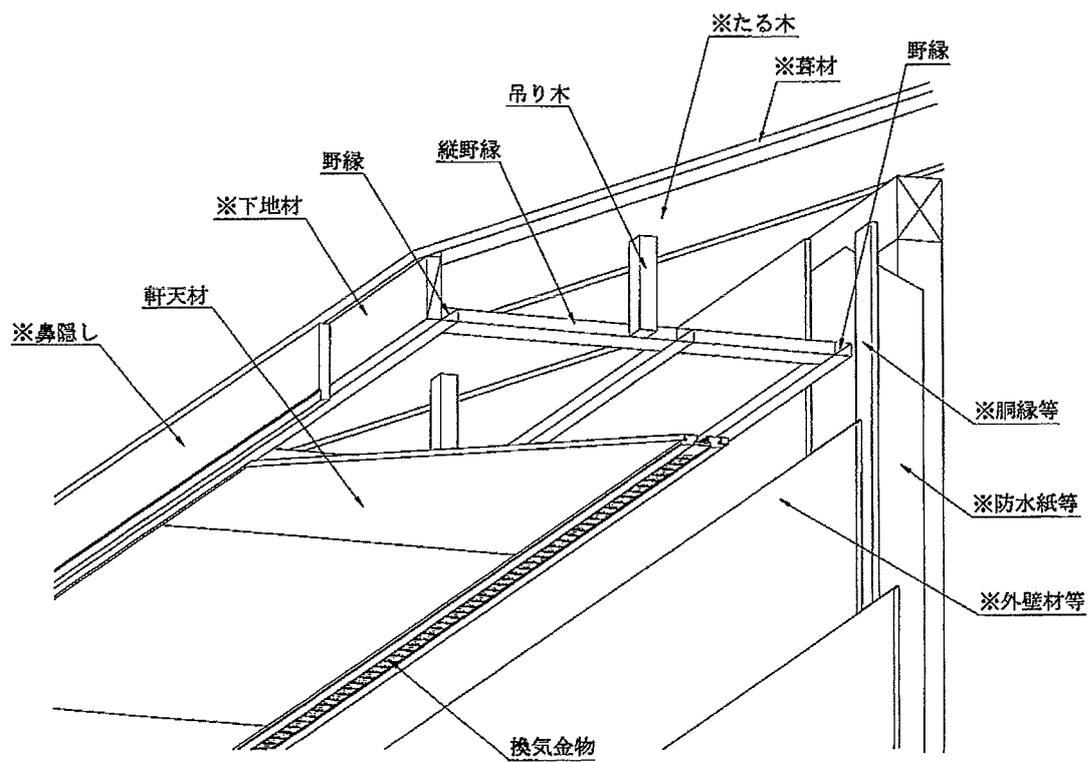


※評価対象外

透視図
(水平仕様 軒の出300)

図5 構造説明図

単位: mm



※評価対象外

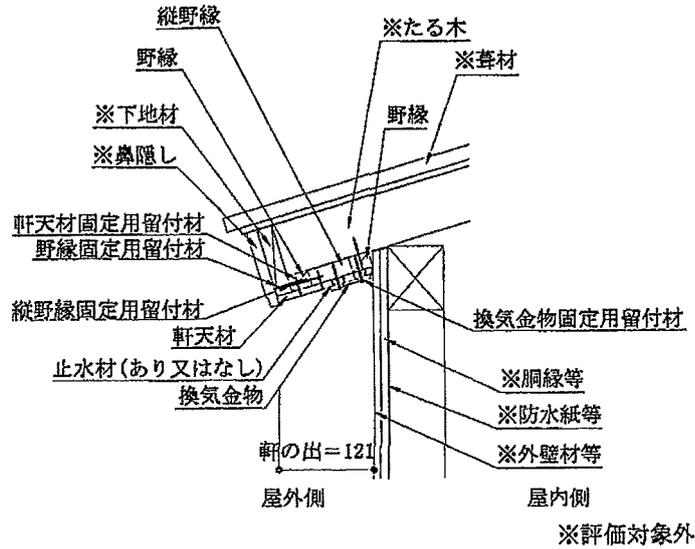
透視図
(水平仕様 軒の出300を超える場合)

図6 構造説明図

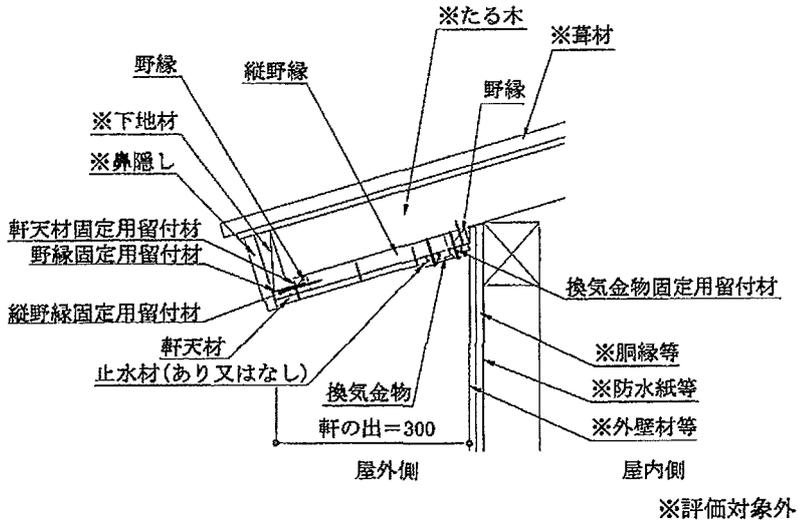
軒部詳細図(勾配仕様)

軒の出=121

単位mm



軒の出=300



軒の出=300を超える場合

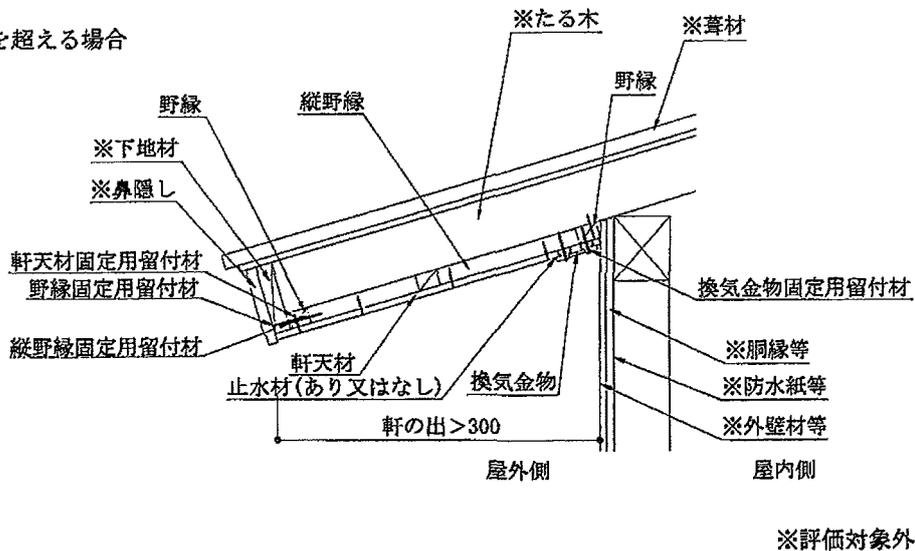
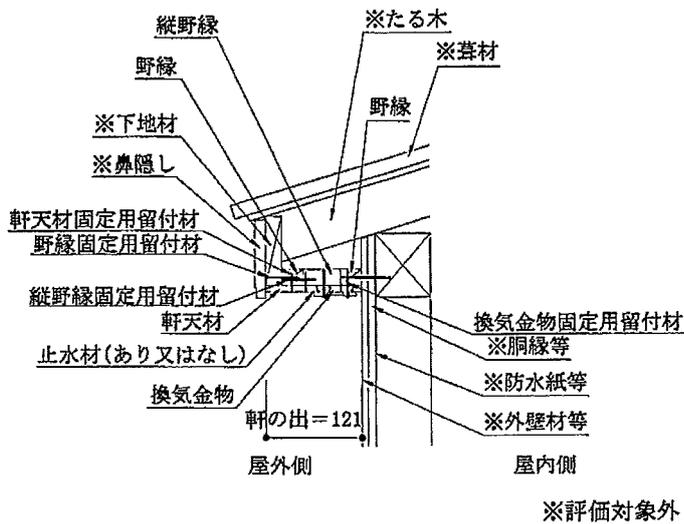


図7 構造説明図

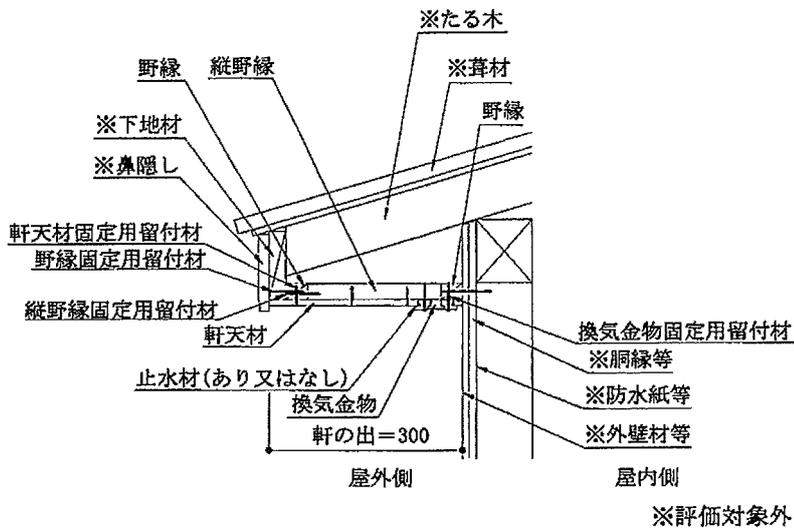
軒部詳細図(水平仕様)

軒の出=121

単位:mm



軒の出=300



軒の出=300を超える場合

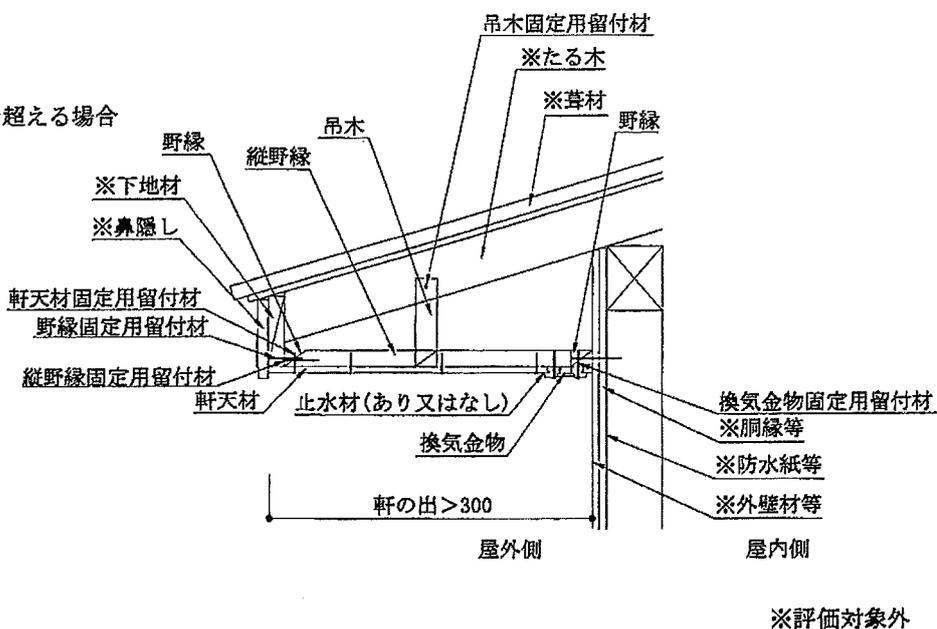
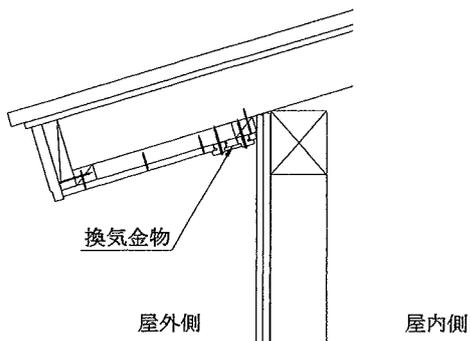


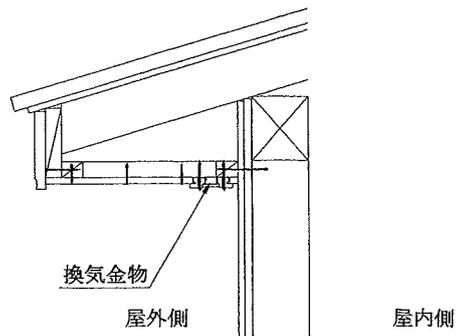
図8 構造説明図

軒部詳細図(勾配仕様)

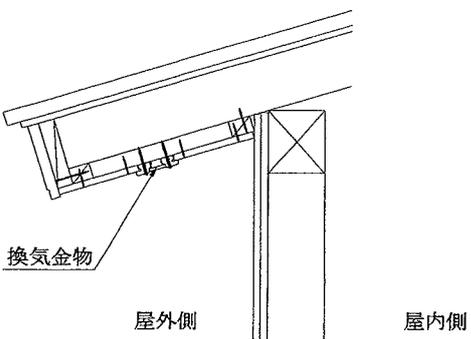
軒部詳細図(水平仕様)



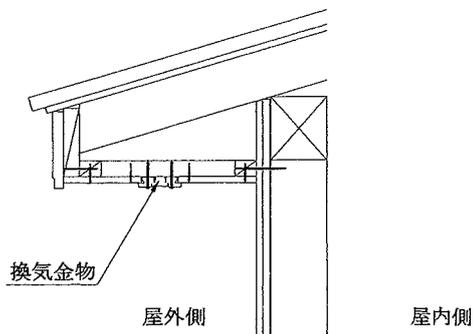
換気金物軒元仕様



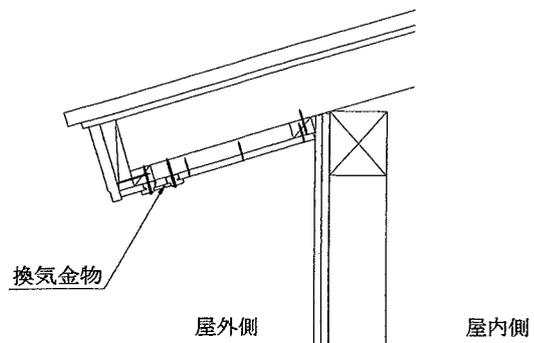
換気金物軒元仕様



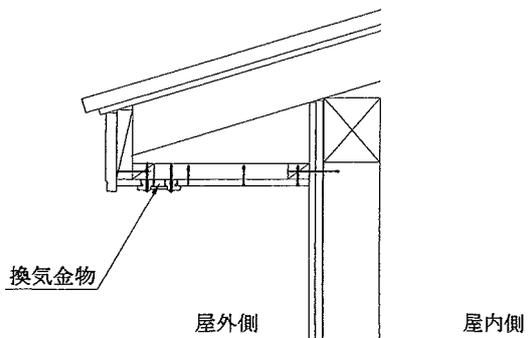
換気金物軒中央仕様



換気金物軒中央仕様



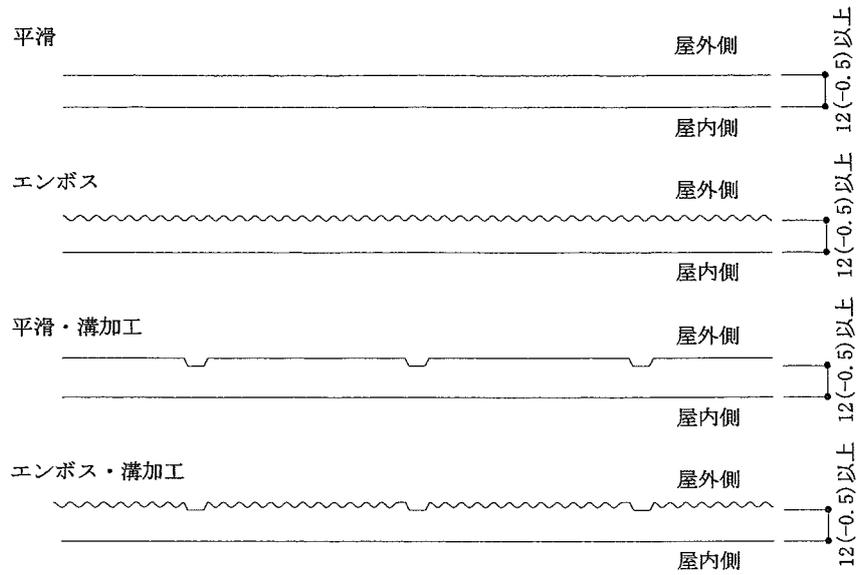
換気金物軒先仕様



換気金物軒先仕様

図9 構造説明図

軒天材の表面形状



軒天材の目地形状

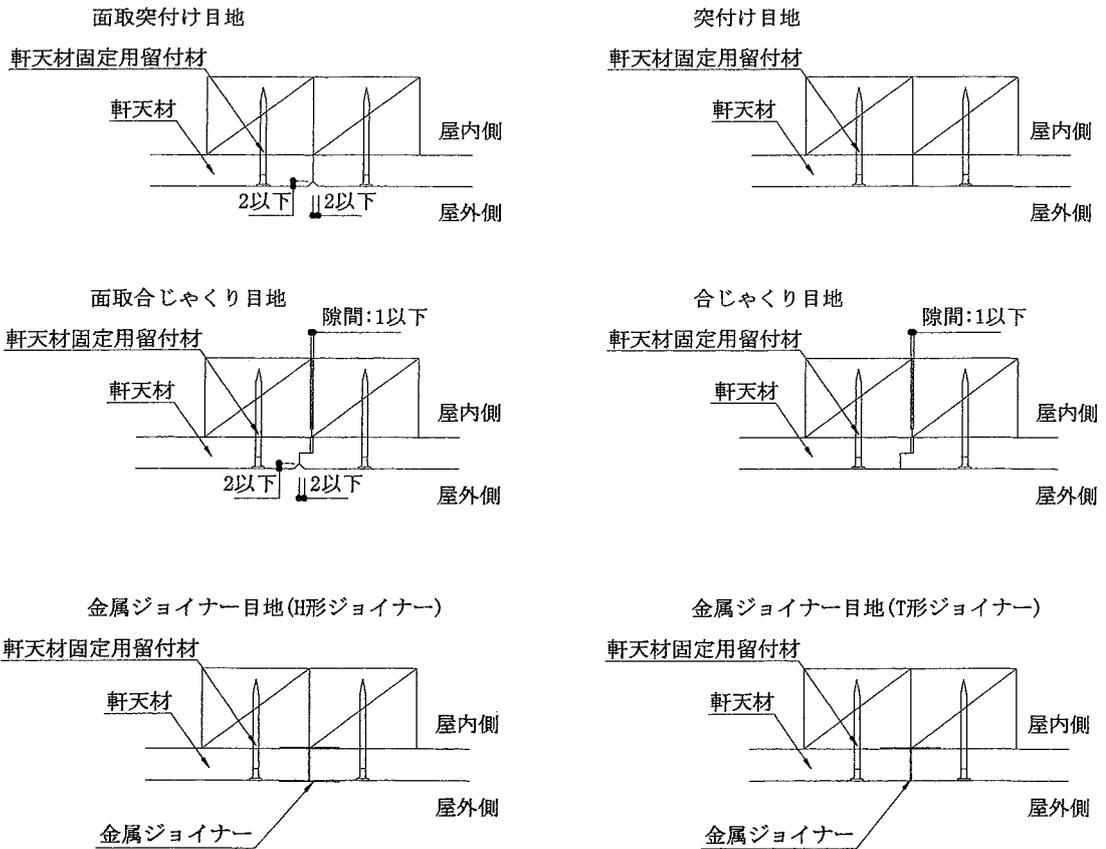
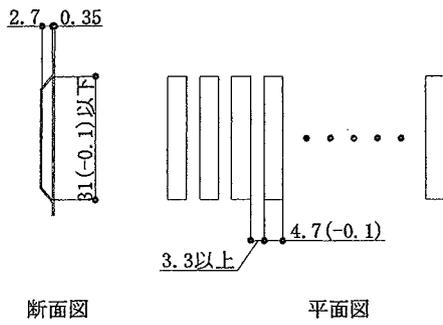
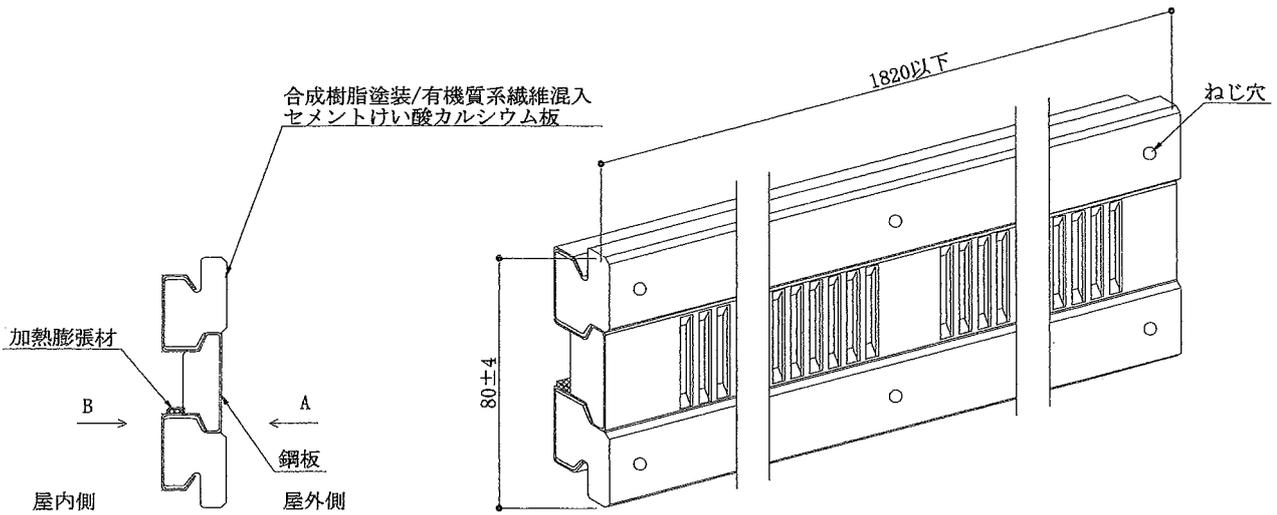


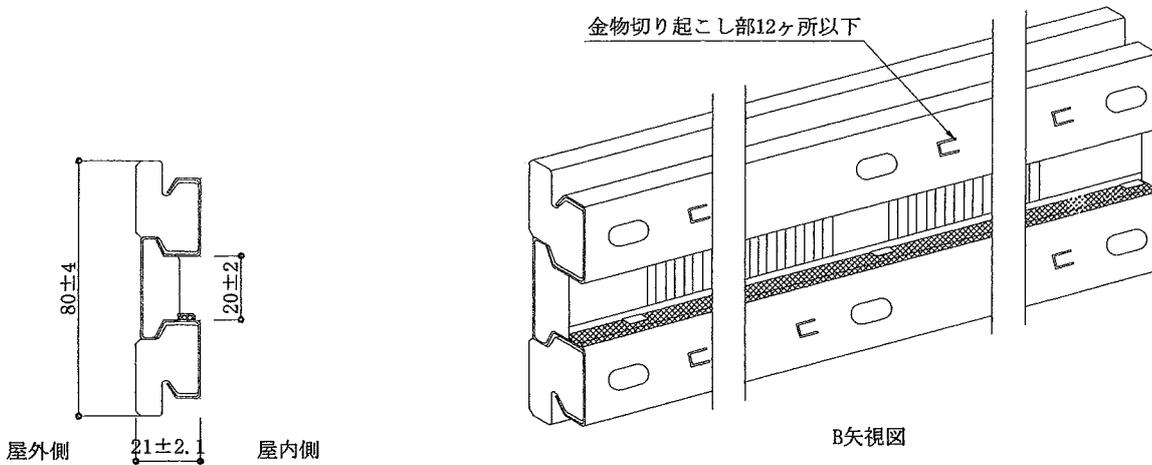
図10 構造説明図



換気金物(換気孔部)



A矢視図



換気金物形状図

図 1 1 構造説明図

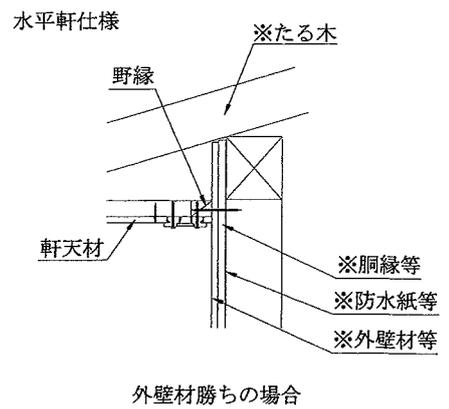
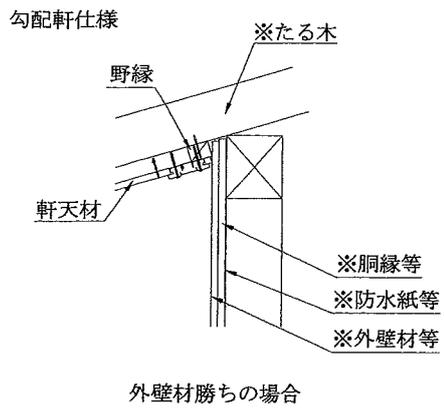
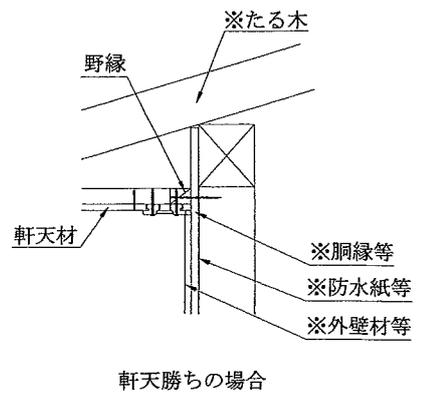
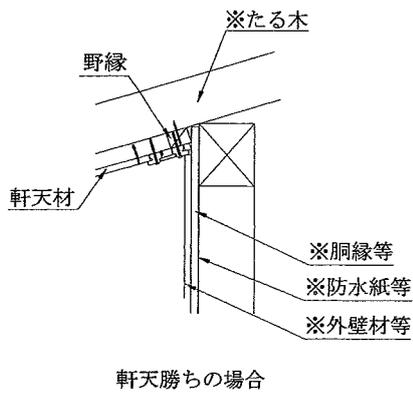


図 1 2 構造説明図

6. 施工方法：

施工図を図13及び図14に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 木下地組

- ・木下地組は以下の方法で行う。

野縁は、下地材及び躯体に対して15mm以上の掛かり代で野縁固定用留付材を用いて取付ける。

(2) 換気金物の取付け

- ・換気金物を換気金物固定用留付材で縦野縁に固定する。

(3) 軒天材の取付け

- ・軒天材を、軒天材固定用留付材を用いて野縁に固定する。
- ・軒天材目地は突付け目地、合じゃくり目地又は金属ジョイナー目地とする。
- ・軒天材と外装材は壁勝ち又は軒勝ちとする。
- ・塗装面は屋外側にする。

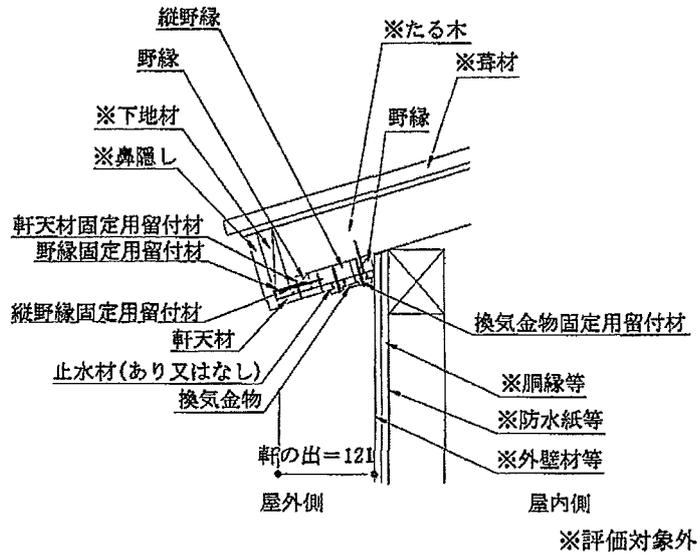
(4) ジョイント部止水処理

- ・必要に応じて止水材を施す。

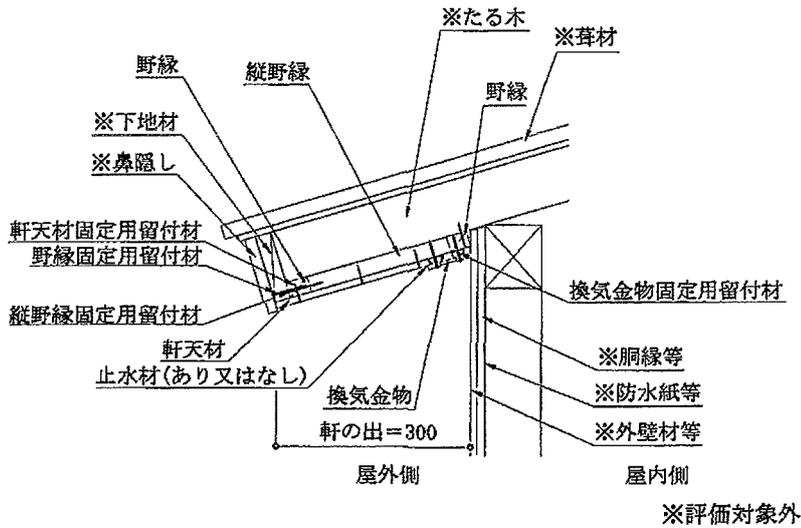
軒部詳細図(勾配仕様)

軒の出=121

単位mm



軒の出=300



軒の出=300を超える場合

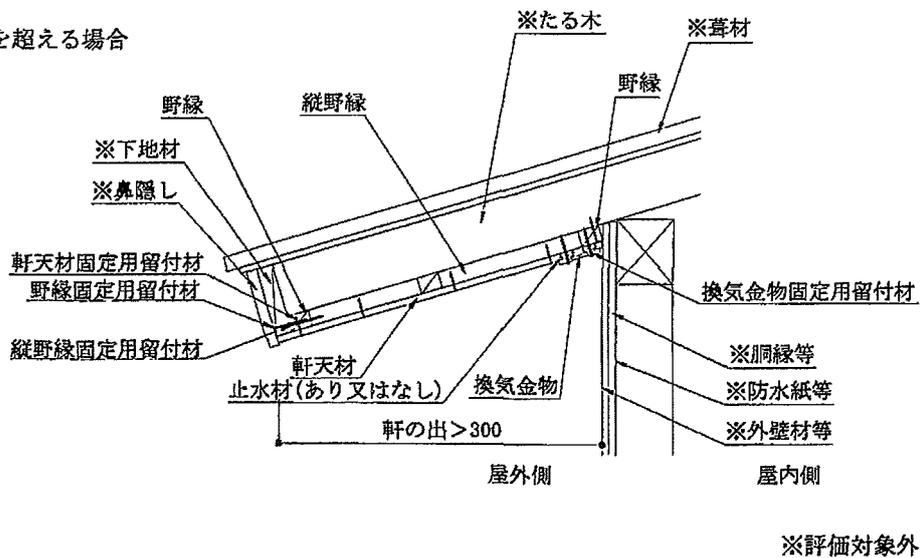
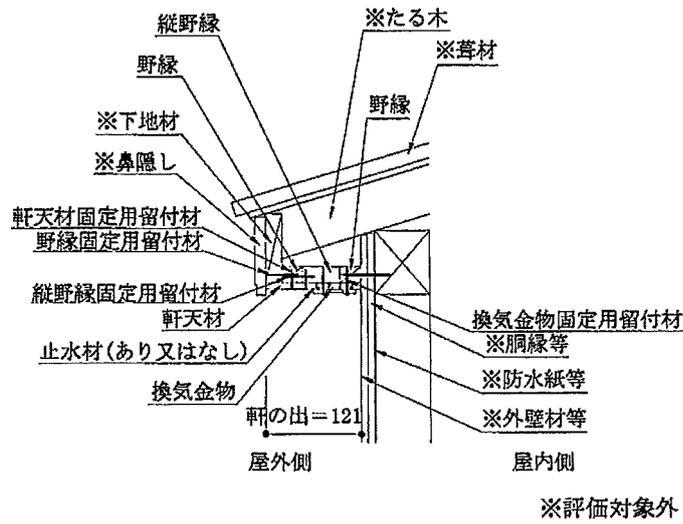


図13 施工図

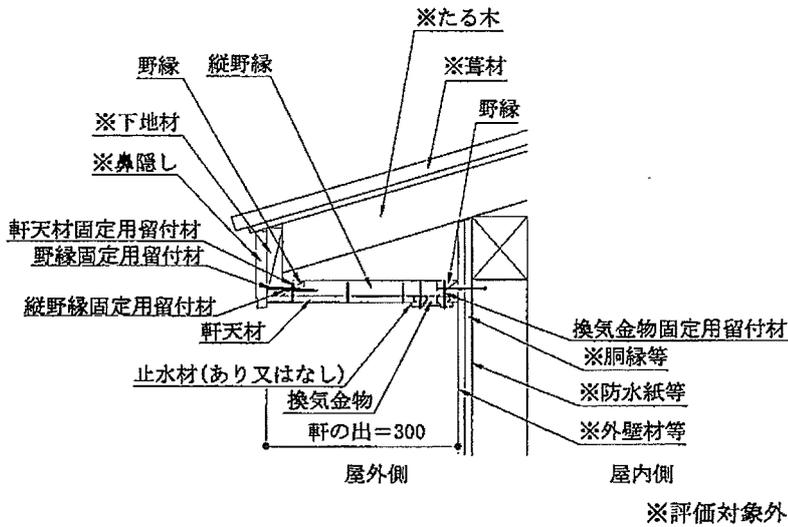
軒部詳細図(水平仕様)

軒の出=121

単位:mm



軒の出=300



軒の出=300を超える場合

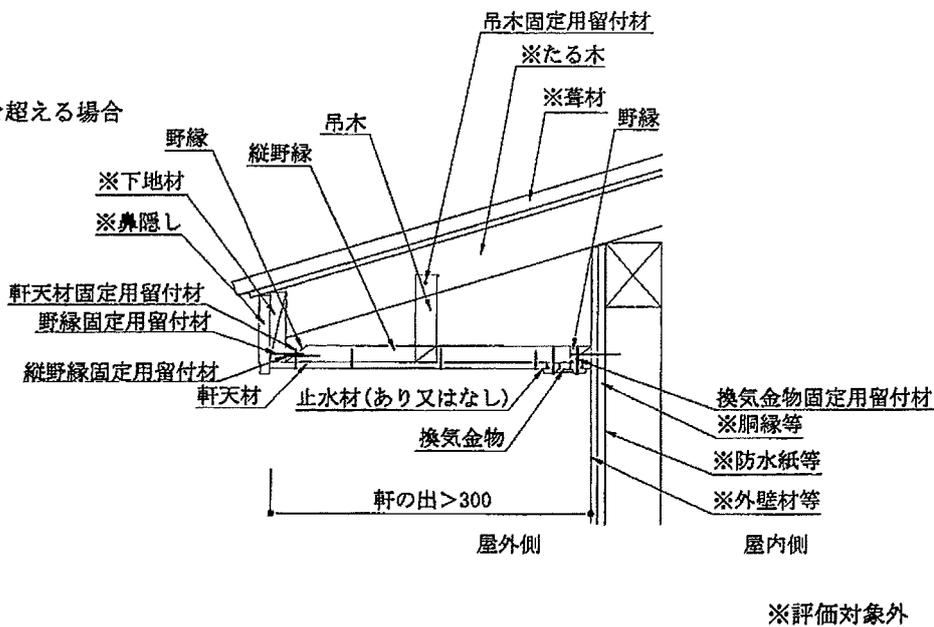


図14 施工図